

かお・人インタビュー

2013年 8月 6日(火)

一般社団法人・福岡市設計測量業協会

会長インタビュー 上田欽三会長に聞く



福岡市の25年度公共投資予算は先の大型補正と合わせ対前年比24.7%増で、業界にも明るい兆しが見えてきた。市内に本店を有する設計測量業者などで組織する一般社団法人・福岡市設計測量業協会(略称:市測協)。昨年からは協会内に行政連絡協議会を立ち上げ、行政への協力や勉強会を行うとともに、今年2月には福岡市との防災協定を締結するなど、地場企業の協会としての特性を発揮し、市民の命と財産を守り、魅力あるまちづくりに貢献していくことを使命とする。「今こそ協会が一丸となって結束し、行政、市民の期待に応えていく絶好の機会」と語る一平成24年5月に会長就任し、2年目を迎えている上田欽三会長に話を聞いた。

一協会のご紹介を

当協会は昭和50年8月10日に協力会として設立し、昭和54年5月7日に社団法人化、平成24年4月1日から一般社団法人になりました。現在、福岡市の設計測量業者70社、賛助会員17社で構成されています。今年2月15日には福岡市と「防災支援活動に関する基本協定書」の締結、いわゆる防災協定を結び、防災活動に参加するなどして協会のPR活動を行っている。そのほか、ボランティア活動の一環として、測量の日に記念イベントや公園のゴミ拾い等もしています。

一現在の協会活動について

安倍内閣はアベノミクスとして「財政出動」、「金融政策」、「成長戦略」という3本の矢で長期デフレを脱却し、景気回復に向けた緊急経済対策として防災、減災、災害復旧等の大型公共投資も見込まれている。これを受けた福岡市の平成25年度予算の普通建設事業費は、緊急経済対策と銘打った直前2月補正を含む14ヶ月予算で対前年比24.7%の大幅増の編成となっている。このように、大型補正予算や円安、株価の上昇など前年に比べ明るい兆しにあふれています。

当協会においては、新しい試みとして行政当局へのお手伝いや政策の勉強会を目的に、“行政連絡協議会”を発足し、日々その推進に努めているところだ。また、特筆すべきことは平成25年2月15日付けで、福岡市との地震、風水害その他の災害に係る防災支援活動及び設計等業務に関しての基本協定締結を取り交わしました。

協会は今こそ結束し、福岡市担当部局の信頼を得られるよう防災への迅速性、地域に精通した企業特性を発揮し、技術力の向上に努め、地元企業としての役割をしっかりと果たしていきたい

—今年6月3日の測量の日のイベントはいかがでしたか

今年の参加人数が200人ぐらい。2つの専門学校の生徒さんや協会関係者、一般市民の方々に参加していただいた。イベント開始に先立って、ボランティア活動の一環として会場の公園内のゴミ拾いを1時間くらいやった後、歩いて距離を測る歩測や高さ、面積などを当てる「あそこまでなんぼ」のクイズ競技、宅地問題の相談会などもやりました。商品もいっぱい準備し、これが楽しみで参加するおじちゃん、おばちゃんも多いですよ。協会のPR事業であり、今後も続けていきたい。

—福岡市と今年2月防災協定を結ばれたということですが、感想は

防災協定の実現に4年～5年かかりましたよ。あの大変だった平成17年の福岡西方沖地震の時、地元の市測協にも協力要請があり、皆で協力しようと会員を集めて舗装、法面などそれぞれの得意分野の会社が担当し、被災箇所の災害復旧に取り組んだ経緯もあります。今回、われわれの長年の念願がやっと叶ったわけですが、設計関係の防災協定の事例があまり

ないので、我々としては1年ぐらい前から協定締結に備えて、水害を想定したデモンストレーションもやっただんです。年に1～2回くらいデモの実施や避難場所の地元説明会などもやるように防災委員会などもすでに設置しています。従来の技術講習会、研修会等の開催とともに、このような防災活動も活発にやっっていこうと計画しています。

—関連しますが、昨年の北部九州豪雨災害の協力は

八女など被災地域に設計屋さんが少ないということで、県測協を通じて市測協にも協力依頼があり、全体で14～15社が3回くらい自主的な応援協力を行いました。今回、防災協定を結び、受け入れ態勢も整っているので、これからは、正式な要請があればそれにも応えられるのではないかと考えます。

—行政連絡協議会の活動について

行政連絡協議会は、市議会議員の顧問の先生方6人と協会が一緒になって行政情報の意見交換や勉強会をやっていこうと昨年立ち上げたもの。今年1月から4月にかけて市内の地区ブロックごとに協議会を開催し、それぞれの立場から行政問題などについて話し合ってきた。この協議会を通じて、行政当局の信頼を高め、協会としての要望、意見などを行政に反映させていければと思っています。そのためにも、協会が一致団結して、会員の技術力の向上に努めるとともに、会員の増強を図り、防災支援活動や社会貢献などへの積極的な参加など市民の付託に応えていきたい。

—福岡市への要望について

地場中小企業の受注機会の拡大など、協会員が元気になるような受注拡大をお願いしたい。

—会長さんの趣味について

好きなゴルフは同業者との付き合いで月一回ぐらいかな。意味深な笑顔で「スコアはむちゃくちゃいいですよ（笑）」。マージャンもそれなりにやるし、囲碁も毎日で「趣味はなんでも」とか。囲碁はネット囲碁で、社員が残業しているときに、毎日1時間ぐらいやりますね、顔も知らない全国の老若男女と対戦できるので、楽しいですよ。

上田会長プロフィール

上田欽三氏 昭和21年9月1日生まれ（66歳）、福岡県朝倉市出身。平成18年5月から市測協理事に就任し、平成24年5月に会長就任。福岡建設コンサルタント(株)の代表取締役で、認定技術管理者、測量士の資格を持つ。



「測量の日」記念イベントの「ビルの高さあてクイズ」